

# 圧縮技術 - 汎用(ユニバーサル)圧縮 -

2008年7月更新

## 概要

ファイル圧縮は、データ量を元の5分の1から2分の1に減らし、元のデータを1ビットの欠けもなく完全に復元する技術です。どのような種類のデータにも適用できるのがユニバーサル(万能)圧縮です。その代表例がUNIXのcompressやLHAです。ユニバーサル圧縮ソフトの使用にあたっては、近年、特許を巡るトラブルが多く発生しており、圧縮性能に加えて、特許面で保証されていることが重要になります。富士通研究所では、高い圧縮性能や使いやすさとともに、特許面でも安心して使える、独自の圧縮方式SLCA(Super Compression & Archiver)を開発しました。

## 技術のポイント

- ・独自の圧縮方式を用いており、安心してビジネスに利用することができます。
- ・圧縮・復元の双方が高速で、リアルタイム処理に向いています。
- ・複数ファイルを一つのファイル(書庫)にまとめるアーカイブ機能を装備しています。
- ・システム組み込み利用を意図し、3種類のインタフェース(API、GUI、CUI)を備えています。
  - API: Application Programming Interface
  - GUI: Graphic User Interface
  - CUI: Command User Interface

## 適用例

- ・クライアント/サーバシステムに組み込み、データ転送時に圧縮。
- ・データバックアップやデータサーバで、バッチ処理のデータを蓄積。
- ・CD-ROM/FDの外部媒体によるマニュアルやソフトを圧縮して提供。
- ・ファームウェア化してプリンタ装置などの機器に組み込む。

